

2019年 三重県議会の活動10大ニュース（概要）

（令和元年11月12日現在）

～開かれた議会運営の実現～

3月	県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中！》
<p>「開かれた県議会」を推進し、県民の皆さまに県議会の活動について一層のご理解をいただけるよう、3月からSNSサービスの一つである「Facebook」による情報発信を行っています。</p> <p>10月にはページへの「いいね！」が1500を超えました。</p> <p>【Facebookによる情報発信の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会日程、議会中継、議会提供番組のご案内 ・ 議会主催事業のご案内、催し物のご紹介 ・ 議長定例記者会見内容のご紹介など 	




「いいね」を呼びかける正副議長

5月	県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート！》
<p>5月に正副議長選挙を行い、議長に中嶋年規議員（自由民主党県議団、志摩市選出）、副議長に北川裕之議員（新政みえ、名張市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の正副委員長や委員などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p> <p>【会派構成（7会派）】</p> <p>新政みえ21人、自由民主党県議団15人、^{そうもろ}草莽6人、自民党5人、公明党2人、日本共産党1人、草の根運動いが1人</p>	



議長選挙の様子

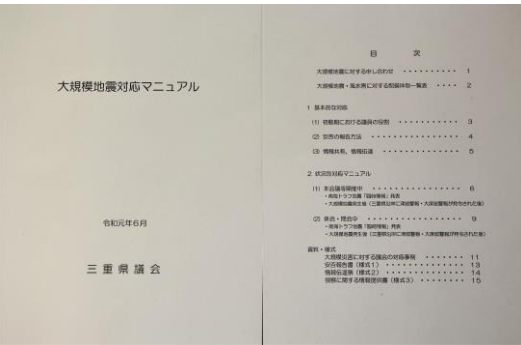
～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

9月	「三重県議会 議会活動計画」を策定 《今後4年間の取組をあきらかに！》
<p>4月に「三重県議会 議会活動計画」の計画期間が終了したことから、代表者会議からの依頼を受け、議会改革推進会議において、今議員任期4年間の新しい「三重県議会 議会活動計画」の策定に向けた検討を行い、案を作成しました。</p> <p>9月には、代表者会議において新しい「三重県議会 議会活動計画」を決定しました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">議会改革推進会議総会の様子</p>	


9月	豚コレラへの対応 《補正予算先議、国への意見書を提出など！》
<p>平成30年9月に、豚コレラが、国内で26年ぶりに発生し、膨大な数の豚が殺処分されるなど、甚大な被害が生じています。</p> <p>県議会では、本年6月に「豚コレラ対策の強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。その後、本年7月24日に県内の養豚農場においても豚コレラの発生が確認されたため、本年8月1日には、意見書の項目について、議長から農林水産大臣に対し、直接要望を行いました。</p> <p>また、9月定例会議では、豚コレラ対策に関連する補正予算案について、1日でも早く対策が行えるよう、他の議案に先駆けて議決を行いました。</p> <p>さらに、飼養豚への予防的ワクチン接種が実施されることとなったことを受けて、本年10月には「豚コレラ対策の更なる強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。</p>	
	
<p style="text-align: center;">農林水産大臣に直接要望</p>	

～独自の政策提言と政策立案の強化～


5月	「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置 《参考人招致などにより精力的に調査！》
<p>「出入国管理及び難民認定法」の改正による新たな在留資格の創設等により、外国人労働者のさらなる増加が予想されることを受け、5月に「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>委員会では、外国人労働者も含めた三重県で暮らす全ての人が、安心して働き、生活することができるよう、日本語教育の支援、三重県多文化共生総合相談ワンストップセンターの在り方、外国人労働者に対する企業等の関わりなどについて、現状を把握し、どのような支援が必要なのか調査していくこととしています。6月、8月、10月に参考人招致を実施するなど、精力的に調査を続けています。</p>	
	
<p style="text-align: right;">外国人労働者支援調査特別委員会の様子</p>	

6月	「大規模地震対応マニュアル」の改訂《大規模災害時の議員の行動等を明示！》
<p>平成30年6月、近年の大規模災害の発生等に鑑み、三重県議会基本条例において議会における大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を整備するとともに、本年3月に、「大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する三重県議会指針」等を策定しました。これらを受けて、国や県当局の当面の防災対応等も踏まえ、本年6月、大規模地震対応マニュアルの改訂を行いました。改訂されたマニュアルは、主に、災害発生後72時間の初動期の対応に重点を置いたものとなっています。</p>	
	
<p style="text-align: right;">大規模地震対応マニュアル抜粋</p>	

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

8月	議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価！》
<p>8月に、日本経済新聞産業地域研究所が47都道府県を対象に実施した議会活力度調査のランキングで、三重県議会が総合順位で第1位となりました。</p> <p>分野別では、「議会運営」で1位となり、議会基本条例を都道府県で初めて制定したこと、県政の重要課題について県民や関係団体と意見交換する「みえ現場 de 県議会」、学校へ講師として議員が出向く「出前講座」、高校生が県議会を体験する「高校生県議会」の開催などの取組が評価されました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>議会活力度調査結果を示す正副議長</p> </div>	

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

5月	議員報酬及び政務活動費削減を開始 《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額！》
<p>平成30年7月に、議会改革推進会議の下に「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、10名の議員で議会経費の削減について検討を行い、本年2月に、令和元年5月から令和5年4月までの間、議員報酬を月額10%、政務活動費の交付額を30%減額する、との検討結果報告を取りまとめました。</p> <p>この検討結果に基づき、本年3月に議員報酬および政務活動費を4年間削減する関係条例の改正が行われ、同年5月より削減が始まりました。</p>	
<div style="text-align: right;">  <p>議会経費削減に関する検討プロジェクト会議からの検討結果報告</p> </div>	

6月	「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置 《外部有識者による調査をスタート！》
----	--

6月に、三重県議会における選挙区及び定数の在り方について調査するため、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置しました。

大学教授など外部の有識者8名を委員として、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」についての調査・報告を求めることとし、調査が進められています。



選挙区及び定数に関する在り方調査会の様子

～その他～

9月	インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言！》
----	----------------------------------

議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、大学院で公共政策に関連する研究を行っている学生を毎年インターンシップ実習生として受け入れています。

令和元年度は、9月に三重大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、9日間に渡り、県議会や県議会議員の役割等について学び、実習の成果を発表する報告会では、議会に対し、「議会改革と広聴広報」というテーマでみえ現場 de 県議会のスケールアップという政策提言をしました。



インターンシップ実習生報告会の様子